



～やればできる～

伸びゆく我ら

令和4年11月29日発行

第17号

文責：校長 石橋博道

【11月の生活目標】おむすびそうじをがんばろう！

朝から登校を渋る子どもに理由を聞くと、「実は、夜遅くまでスマホでゲームをしていたので（あるいは YouTube など動画を見ていて）、起きれない。」という返事が返ってきました。また、登校したとしても、イライラして学習に集中できない子どもがいます。「早く帰ってゲームをしたい。」のだそうです。

子どもたちが使っているスマホの所有者は？何か起きたときに責任をとるのはだれ？

現代の子どもたちの生活において最大の懸念は「メディア利用時間の増加」です。教育の中でも一人一台PCは配備されたようにICT機器の利活用はこれからの世界を生きる子どもたちにとって必須アイテムには間違いありません。しかしそのことと、余暇や友達との交流で自由に使う、メディア利用とは区別しなければなりません。メディアの利用時間の長さや学力の相関関係は確実にあると言われています。

また、所持年齢は年々低下しています。今後益々この問題は大きくなっていくでしょう。

そのような危機感をもっていたところ先日の長崎新聞に裏面のよう記事を見つけました。この記事の内容をヒントに「スマホ利用の十か条」として、諏訪小、桜馬場中、そして伊良林小の3校の校長で共有しました。

これから利用させようと考えているご家庭、既に使わせているご家庭、利用の仕方が気になっているご家庭で話題にさせていただけたらと思います。

時間の設定や文言などは、各ご家庭でアレンジしていいかと思います。「スマホ」に限らず、ゲーム機等他のメディア類も同様に考えていいでしょう。要は、きちんと親と子ども両者が納得の上で「我が家のルール」を作ることです。特に重要なのは、

スマホは親の所有物であり、それを親の許可の上で子どもに貸し出しているのだ。

という大前提です。責任も権利も親が持っているということに自信をもっていたきたいのです。

<スマホ利用の十か条>

このスマホは、お父さんお母さんの物です。あなたの物ではありません。次の十か条の約束を守るという条件であなたに貸します。

第一条 午後9時になったらお父さんお母さんに返します。自分の部屋には置きません。

第二条 顔を合わせて直接その人に言えない言葉や文章は、書きこみません。

第三条 お父さんやお母さんに見せられない写真や動画は送れません。

第四条 しなければならないこと（学習・習い事・家の手伝い等）をしないで使うことはできません

第五条 お父さんお母さんが必要だと感じたら、いつでも中身を確認します。

第六条 勝手にパスワードをかけたり、変えたりしてはいけません。

第七条 使用可能な時間帯であっても、使用時間が長すぎたり、使用場面が適切でなかったりしたら、使用を制限します。

第八条 直接顔を合わせて会ったことのない人の言葉は、信用してはいけません。困ったら必ずお父さんお母さんに相談します。

第九条 課金はどのような理由があってもしてはいけません。

第十条 休日は、スマホ、ゲーム、テレビ、PCなどのメディア利用時間より、紙の本の読書、運動、外遊び、直接人と会った会話等の時間が長くなるよう心がけます。

この十か条は、毎月一度確認します。十か条が守られていなかったり、何らかの問題が起こったりしたら一度没収します。話し合ったら問題が解決したらまた貸します。

ネット利用 親子で話し合いを

子どもがインターネットに費やす時間が増えている。内閣府の2021年度の調査では、10〜17歳の1日当たりの平均利用時間は約4時間24分だった。ネットは世界の人々と手軽につながる事ができる有用なツールだが、依存や学力低下との関連を示すデータもある。専門家は使い方を工夫している親子もいるとし、「他のことを優先し、余った時間に使う」といったルールを決めてはどうか」と提案している。

睡眠、勉強優先し 適切な距離感に



内閣府調査によると平均利用時間は9歳以下でも約1時間50分で、どの年代も前年度より増加した。ネットを「利用している」と答えたのは10〜17歳の97・7%。9歳以下は74・3%だった。使用機器はスマートフォンやタブレット端末、ゲーム機、テレビなど。目的は「動画視聴」が多い。利用の影響に関して、厚生労働省の研究班は18年に「ネット依存が疑われる中高生が93万人に上る」との推計を発表した。

米国の母親が13歳の息子に渡したスマホの契約書(抜粋)

これはお母さんのスマホです。私が購入し、あなたに貸しています。

学校のある日は午後7時半、休日には午後9時に親に返すこと。人に面に向かって話さないことをやりとりしない。

裸の写真などの送受信はしない。一度ネットで拡散した物を消し去るのは困難です。

人と話さない。ネット検索に頼らず自分で探し求めなさい。

問題があれば没収します。そして一緒に話し合い、やり直しましょう。

睡眠時間や勉強、運動の時間が短くなりがちで、うつ傾向とも関連があることが分かった。

文部科学省などが実施する全国学力・学習状況調査の14年度の結果でもスマホなどの使用時間が長いほど、国語や算数、数学の正答率が低くなる傾向が明らかになった。

山梨教授は、「子どもとネットやスマホとの適切な距離感をやりとりしないなど、使用を考える上で、「10年ほど前に発表され、世界で話題になった米国のある母親の試みが参考になる」と言う。

母親は当時13歳の息子にスマホを贈った際、手製の契約書も一緒に渡した。「スマホは私が購入し、あなたに貸しています」と所有者を明確にし、余った時間をネットやゲームに使ってほしくない、というルールにしてはどうか」と話している。

長崎新聞2022年9月30日付け記事(共同通信配信)

「120周年フェスタ」ギャラリー

<3年生> 総合発表「ぶらぶら伊良林」

若宮神社「竹ン芸」のしゃぎりをバックに、伊良林の良さ、すてきな所をぎっしり詰め込んだ”名作”となりました。



「伊良林120周年フェスタ」動画限定配信 (11月29日~12月12日)

見に来れなかったお父さん、お母さん、そして遠く離れたおじいちゃん、おばあちゃん。お待たせしました。いよいよ配信スタートです。子どもたちの頑張りとお祭りの雰囲気を感じていただくと幸いです。本日配付した案内文書のQRコードもしくはURLからアクセスしてみてください。